織の他につき協議してあるが廣東いて党質上の中央政府ル歴東に協の他につき協議してあるが廣東いて党質上の中央政府ル歴東に召集し大倉を開って党員上の中央政府ル歴東に協議の他につき協議して高京の中央の大学を

東土金

対伐通電ル登する。 派及び反蔣派は近く 派及が反蔣派は近く

日

中央執監會議を

**廣東** 二 召集

廣東反蔣派の畫策

名の代表は連盟を現て一切の反逆を南京十四日登)岡民會議院會問か

1

変織が 館にて火雪切られる機様で

劉軍移動開

ス権利はない。

る」ことだった。あの控機たるといへば交や通り「人民を植る、話は飛ぶが、もこは様民政策

民政策の錯誤、即ち終れが、

職に植民政策のAbodhm

日五十月五

各的少少是

植

がこれに代った。昔のかいこれに代った。昔の

機民政策

鎌低気性」の問題し、つまり満 織低気性」の問題し、つまり満

此頃持ち出された「満

なるに從って

極がないさいはれてゐる(今で

西洋の本や新聞には割合に

地を書ふこさだったが を関家の帯出地線の ではなき 飛民地の

地とは、

自滅する外にないさいふのであり、時代錯誤の東印度會社さなつて

後に合理化しやうさ

先づこれを現代化して

十日とろ張學 反蔣通電

がら不天暇」では

の映植だった「敵ながら天曜」

これはライノタイプの調子を試

文句が飛び込

を高れて既に組んでしまった

極民を状型され得、

感心しない

大量な誤植があつた。文章の中

華民国」さいる世界

一の郷立国

の共同片領

る。オー・イ

イエスである。ヒヤ

「権民地」で呼ばれ

所以はそ

いかに中華民國でも、純然たる脚は特徴と監験されても、純治権の代所がさうすると、統治権の代

民國の一部

外國市民の會社に、自國の統治

かに中華民國でも、

を非談するカル製へるわけに は行くまい。古典な特徴を失ふ は行くまい。古典な特徴を失ふ

國會で緊急動議を た通過した存は明かに脱煙薬品敷 反逆を討伐 て電話された 可決 もので國會の名か以

孫軍と共に戰機を待つ はさして集中せしめ命令一下直に出 しさ際へられてゐた孫、在兩軍は になった、又天津に在る振大會議 になった、又天津に在る振大會議 順德に集中 寛委ざる 立したると 立したる上郷代石氏を発験し感どさる場合は武力討伐を賦行し中央。

東出動の命令が下つたさの説が高

**廣東へ航續不能** 

を者は一大大は、 でである。このいては「概能」というとして、 でである。このいては「概能」である。 に一本では、では、 に一本では、 に一本では、 できるに、 がでいました。 できるに、 できる。 できるに、 できるに、 できるに、 できる。 で。 できる。 でき 汪精衞氏 招電決定 陳濟棠氏聲明 兩廣軍前進開始 の戦略機は三十 中央軍の機先を制し

職会軍機利金に就伝した又前職機 第八路軍ル討浜軍主政め討逆西南 第八路軍ル討浜軍主政め討逆西南 閉鎖命令 軍々事機關 に開催すべしさ齢金した。これは ・ 孫慶英、 程太三軍の駐港独選 臨取 國民會議 閉會式 來る十

多分六月、

る實施

司法官

は俸給令改正

國際銀會議

支那で開きたい

宋財政部長の計畫

銀會議主催の

可否協議

職相、實業家と

八日

東京十五二登』政府は減俸家に 地から速かに實行せんさしてゐる 地から速かに實行せんさしてゐる で、その實行手概はその大部分は

て近く政府は破骸地筋の時期手行と 六月頃より始められるのでない 徐るさの解離を取つてゐる、從い さ見られてゐる

した減俸率

總額二千四百萬圓

に非十四 数 支那眼情報による。 を参地の支那銀行家を指導して支 を参り支那銀行家を指導して支

東北軍以外の一切の軍事機関は直の大津窓局で向け、軍権統一の合めに、軍権統一の合め

公權交涉口

對す

(野する今日までに決定せるもの 藤東京特體十五日盤) 管更減俸家 黒進的に進める、政務水官、事 黒進的に進める、政務水官、事 黒進的に進める、政務水官、事

及び判任官の一律に勅令で

大臣の一萬二千國に難して一朝宝 大臣の一萬二千國に難して一朝宝

四百萬國の減額を得ふ機様である みばた合せて機総戦四億国中減二千 をは決定してるないが一般特別會 思

0

る事になった。

が戦態に人類の幸職のため支那人であるが越に支那はこれを概念からさうした技術家や企業家がは支那はこれを概念があるが越に支那はこれを概念があるが、さうないできるしたり、さうない。

午餐を賜ふ 學士院會員に て。 處が無人の新天地に乏しく とゆられるまで人間を確つけて埋められるまで人間を確つけ

うき見られてある 行機での魔鬼な戦は不可能であら

た、餌ち本日は第七回本会議を開いて歌いた。 裏出席性残の本会議を開いて歌いた。 表出席性残の下に既兵式な撃行し 表出席性残の下に既兵式な撃行し

各國に手交 即時廢棄を宣 せず

「大学とて決して即時職業を置する」は抗議の必要はないものである。 生交される事さなつた、右ば各國 て各國もこれを機受しても反駁又は近く外交部を通じ關係各國にも せる程度のものに過ぎない、從つは近く外交部を通じ關係各國にも せる程度のものに過ぎない、從つは一次を表したと知ら

職は食十八日午前即 つて、資本輸出主義 の事でなった 八日午前除會式で学にす

関係してゐるので窓に會見出來す 明十五日午後三時より會見出來す 明十五日午後三時より會見出來す

大分二區補選

国は六月十日頃までに底遷撃された。 電は六月十日頃までに底遷撃された。 の地決により失格さなつたので選 の地決により失格さなつたので選 の地決により失格さなったので選 の地決により失格でなったので選 の地決により失格でなったので選 ふこそになった

重光代理公使 けふ王氏と會見

大藏省所管 見た得て午後五時半設會した

は廃止 減すること(事實局理業員を除 - 容組織を改めて人員を減少 酸造試験所はそのまゝさなす

俸は

大藏、 陸軍の整理 行整委員會の意見 

信夫博士滿鐵計門 五二年前十時滿鐵に大極副機裁以下を誘眼と探察がなって、

實効散 本舗

皮膚病薬の…

最高權威

▲山岡信夫氏(高級を遺部保安課 長)去る五日大連出教長春保安 展管内廿四ケ所の信護所施設の 保存状態、作業を績等観察中の はころ十五日朝時速 さころ十五日朝時速 で、名 七日入港のはるびん丸に て來連の答

蛇

子供ストライキさいふ珍様 動まつた。なわんだ、子供のくせ くつてよかった。 0

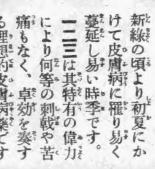
はもつき温和に、熱かに、さいふかないのいないのいではまさいふか味ではそれだけをではまさいふか味では 教育はの節波、官吏の被係は、

する。 ものと疑し政府としては我園は厳安証さらめようさいふのが臓なので。 ものと疑し政府としては我園は厳安証さしめようさいふ観がな米園 ものと疑し政府としては我園は厳安証さしめようさいふ観がな米園 ・ できる。 ・ できる。 ・ では、 ・ できる。 ・ できる 

ちやないか」さ大具得を切つた







る理想的皮膚病薬です

痛もなく、卓効を奏すにより何等の刺戟や苦





補鐵社會主事

## 日支電信契約は 愈よ近く調印 南京、漢口兩事件解決文も交換

滿鐵重役會議

電信新契約の正式画取は闽民會議一つた常島、佐世保、長崎、上海所瀬底、広電信契約も伝調取っる手管さな記、護司事代照衡金解決文交換、こことなり同時に凝慰、後水間海に商家で、護司事代照衡金解決文交換。こことなり同時に凝慰、後水間海

内地小學教員の

初任給減額 教育費の整理方針

滿洲視察

職工 ・一行は本月十三日來程、十四日大 連へ随ひ沙沙口工書を觀察代表 ・東支呼海兩線が視察、野克、独 ・四派等の販児を仔細に附究し ・取支呼海兩線が視察、野克、独 ・四、野京、大 ・一行は十九名であ

南京鐵道代表

無いのでは、 ・ は、 、 は、 、

H 対果 咽喉の思き人等 よわき人 たんせき一切 败 胃 弊を使ふ人



指名下さいま いますやうに願ひますが御座いまりから、お買

中京南ふ脈て議會民國

東支鐵道讓渡ご交換條件の

ロシア品ダ

1

ピン

牽制策

b

というでは、おけば、 では、この計画のりで取べら にてるるが、おけば民政府が現在 にてるるが、おけば民政府が現在 のもの計画のりで取べら 支那に震波する代徴さして、国内とソウエー・館は荷蘭道を影像で 反対により

で も終せられ、光松も戦争にまで線で した程 を終せられ、光松も戦争にまで線

で「世界革命は東方において成就せ」

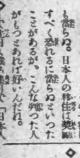
た今日は述て「佐家の皴料がはつき」 監には、理想が ので、一時支那

に日本人が支那国内で他事をや お事を纏つてゐるやうだ。警で 歌歌歌氏・支那っ織人口七子萬の 学歌三千五百 高が支那に移 性もたさもて もその一軸に もその一軸に もその一軸に もそのかしていった人

るて つちや先づ陳より始めよし さいふちやないか、これにけ

こさがある

はあるが一般は民間位力者の意味されるが好きこれが外上銀相場へ続献しるが好きこ



あすの定期船 乘船は早目に

後一時十二

変物が動き作出

**資源館其他**を

東にて大連へさ向はれた 東にて大連へさ向はれた 東にて大連へさ向はれた

更上御視察

御歸連の春仁王殿下

歴大生一行で共に午

た慰安する清難の慰安車は今年も 選を訪れて都會師生活からい朦朧 他立てた傾りだ……さは蛇谷駐撃・群さ秋に中間驛 鯱砂する人 苦心して、例年に考らない慰安車

上野職養殖車に搬込み十四日午前 れにか遊走し 大事務日曹標宮子(こ)以之内俱樂部社 はせ人事不管 町五大野戦一(こ)以之内俱樂部社 はせ人事不管 大事務日曹標宮子(こ)以上の俱樂部社 はせ人事不管

り目尾い金融を奪取る何れている。これを表しているのでは、これを表している。これを表している。これを表している。これを表している。これを表している。これを表している。これを表している。これを表している。

れつとあるは静脉脈然たる あるが十三日午後入港の天都知にれついあるは翻跡無然たるものが

公園改良委員會な搭集し右計畫をたので市では十五日午後二時より

九時近隣の者が

大連市民運動

まつて一名の原文那人が存行を三 附近とたが上野などがは直に取調べんとたがに同人は楽學く遊び、 腕 前さしたのに同人は楽學く遊び、 腕 前さしたのに同人は楽學く遊び、 腕 前

市内医馬町一八野崎政権放光戦チのたうら常い女がシクイ〜泣きながったうちだい女がシクイ〜泣きながったっちがシクイ〜泣きながった。この女は

關東州庭球·

中込締切

一日まで

変中である

土 電影の観音が振り戦なのない。

が不動物でチップ敬人が減り性を

最近海池町機カフェーから

称めに敷産の盗みを願いたもので網絡コート一着に窃取らたのを手

特別大犠牲二週の為

六日

水産講習所学

日午後一時四十五分大連發。

野にて帯ち懸けのの職車に否され 者に都を聴いつゝ久保田 職長の知 御野蘭東殿紙 野! 長以下売ざ時間

午前七時四十三

來る二十七日の海軍記念日

軸記念日祝賀

避しの大連着製築定は十七日春を裏長山州島が前腹島中なる軍艦「

は決してない、たゞいろ~~の 小選子等に抗議したさいふ輝で

不時着水源流中な白鳳丸に救助され時間の後有知動に

離になるが元級一杯である

行士と共に十六日中に根室、引返にはそのま、前風域に積か吉原帝 生じた為め飛行不能さなり機

生でた為め飛行不能さなり機

休憩所の設備 忠靈塔境内に

の忠霊塔境内には現

洋品上子供用雞貨

公主嶺の

人妻駈落

越後で心中(殊)

「淀」者發豫定

通す時者の肌寒き熱風なもお眠ひれ合ませられながら激素といいき

早日に乗船されたいさ では、一年日に乗船されたいさ

説明する現場識品を教祭

連日の御見學にも御機嫌麗し

連に在任する日間別名。 者江澤大助の既明ル御興味深げに 連に在任する日間別名。

お土産を積んで

滿鐵慰安車出發

例年に劣らぬ出來榮

用山戦蹟を御見學

宣修に新奇を始む客の心理を巧に一入れた

営業者が

當署のみ嚴重ではない

報知日米號

市五日から開始する南京、小平 高州里の航空郵便は一週二回で

デノ上へを月三十一日日曜日ナルを持三名養者大連取引所信託株式會社

十五日から開始 中五日から開始

平 班

根室に引返す

を取扱ふさ 【奉天電話】 と前さると、野信一切

大連署保安主任談

文豪ゴ氏婦る

御來連の閑院若宮殿下

南

山

戰

蹟

碑

前

0

(※甲)

北島丸衝突 は入郷に理を要す

營城丸ご

取次度管根合書の野で夫に對する。 なほ宮子は清洲公共戦後新聞 家出して東京にて自踏してるたら 不滿から九載さ六 龍口沖の鯛漁 の子供を難てる

三日目取組

東京大相撲

左記は其の変項で

電力及電熱料金改正廣告

一、電力の部 従債能力

報料金 かえな申受けます

の漁場調に出港中の水 例年より遅る

キューピー

金四錢六厘 金四级多

金多錢五原

金金金金金金式式线线线线线线线线线线线线线线线线线线线线线线线线线线线线线线式工厂 原原原原原原原

或 錢 九 厘

マヨネーズ

金 正光南會 正光南會

壓

百キロワット時迄の分

ツト時に付 一キロワット時間過

缝四层

金のは金の水に対して一キュワット時間過二百円を発売した。

米の申入れを A·Kは拒絶

連鎖商店街カフエー

の躍進

大連署板挟み

砂無經 ぬえが 型 超 表 22283 至 22044

學堂長打合會

風紀間間が再び纏頭、大連署保安 を探索し、同業者間に延點な安給 かられて変更のの風評ある安総の でられて変更のの風評ある安総の である安総にしたサービス駅が変

ア・駅母さなつた大津票管内のカー 大地野でなった大津票管内のカー

満子管内に客を奪はれ我々は業 常に緩かであるに反と實際の御 常に緩かであるに反と實際の御

された 粉ぜんさ

上に一乗さなり細級で校

新し日本側は是非この干部である。 は滅傷管局と打合されが例分日 時がが迫のため遺憾ながら今間は サメリカ側の申入れを拒絶である。 こことなった。 御食膳に ゼクニックにも

開原の

越後地まで脳溶したが

强盗、家人を傷く

金品を奪取して逃走

昭和六年五月十五日ヨリ同年五日昭和六年五月十五日ヨリ同年五日 預十五日 1月 同年五月三十日 時時 本 建會修了了日迄株式名義書換停止公告

殿兩朝秩四賜畏下宮香父度賜畏

滿 洲 電 氣 株 式 會 社

Ł

昭和

六年

五月

濟南事變三周年慰靈講演會

結構の伊 場會志談體由

五月十六日午後六時半 連多類原理

器物の耐久力とはが大きった場所の節約とはが大きって

滋賀洋行

年自 轉 場、製氷會社裏

申靜開場 込 締場 切所催所 關東州

五月二十九日 西周自轉車店、本店、支店 西周自轉車店、本店、支店 世界 一日午前九時(日曜日)雨天順延大連中央公園兒島池スケート場、製米會社

右御申込の際は番組の都合有之年齢の御知らせを申 込締 切 五月二十九日 の町四の野山ます

自 交際 方 方 に 諸 店 諸 店 諸 店

河

主

支には、これの方と番

悪臭髪を突く部隊の奥楽く進むに

觸感の夏初 寺兒溝に巢食ふ苦カ二萬 と賭博と 底の生活

それ、青菜園業の風伝 して野城しい午後であった。記者 い年後であった。記者

新から共同性語を競か、野し報を は吸ず二夫婦か三夫 の原因は妻の直接の事方が続いさ 受持ち間官の話によるさ夫婦喧嘩いふ分乗級度なのである。都湾つ 人には機能も及ばない不思識な彼いふのが一番別いさのこと、現代

市の犯罪の棄棄はこの部隊と けるでほじげな男が飛出 て来て 他の見てはならのエロで賭場の場 原始人ほご新真を搬ふものらしい 職権な小屋の中に逃げ込んだ 鞭モ ころへレンズを向けるさ、繋 モ

来る。さいふ状態で自慢にもなら をを観す襲あり、さいつて郊外に はって、また鯉のやうに無関って があり、さいつて郊外に

北西の風景後時

天氣雜就

屋イスヒるあ用信一唯洲満

金屬、麻雀、紫檀細工スイ、寶石、珊瑚 專門店

電話ニニ六 のた 番

大連市浪速町三丁目

引

弓

日活の「かん

男の終に墓石と墓石の間をひそ でも忍びこん

ますから、ごぼんさ音がし

家から來てゐるさいふ果者山村新の上の症が一つある。ほれ、原張 人と見えるからなっそれなまたど か田沼の我様での田沼に目

れでは一切けての智だ。か

於此天山氏

京

の下に渡っ事皇三周年級歌歌遊 伊東天山氏が 慰靈講演會

大郎主義の「毎場殴いれ美感」と 東亞に入社した胤織三郎の第一東西に入社した胤織三郎の第一

日下

別般 協科監院

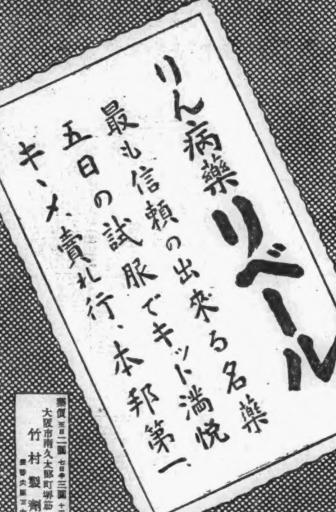


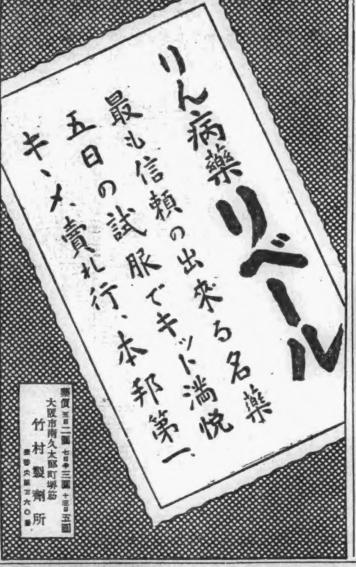


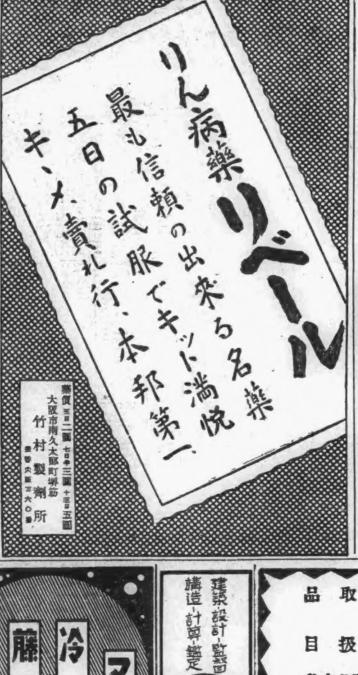












購造-計算-鑑定

宗像建築事務所

宗像主

二二二六六

大連市連鎖商店街太小路

冷

慧

瀬のさいた 家具は装飾は 連申伊勢町大二 **蒙互業** 

産話七九九八日

1

所

椅

子

液

品

物領石類、機物類、鹽、海産物、砂糖、瞳詰類、各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、香種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、水野、石炭、コークス、鐵道用品、

治 家庭 11 圓

日

政会を開催するが数日の概要を含む開催するが数日の概要を受けたが、

化画映楽器のい 紅ビなは栗暑・作原史女代千野字

の子女婦の下天滿やるれる歌連に紙間新知報度一 証主・介之雅形月 作原氏五十三木直 記 平 太 國 南 ● 作原氏五十三木直 記 平 太 國 南 ● 計台 経来の需中るせ達に極其日禁・税連階新日毎駅大 資主・子純原・職英川吉・男海泥尾横瀬州県小ロエ 銭 ● よ やいやちし 藩 興 え ね ● ● ● 即行ロエの人ニスロドマ者多奥とりカロエに々港



本例は有名なから、 の無力を持た。 を一切を を一ができた。 を一切を を一切を を一切を をできる。 を一切を をできる。 の物のを をできる。 の物のを をできる。 のがで、 の

約らはしい原告

神 町 電話六二七五番 (連町 電話内田八二番 (連町 電話四四八二番 (連町 電話四八二番 (連町 電話四八六四番 (本町 電話四八六四番 (本町 電話四八六四番 (本町 電話四八六四番 (本町 電話三九六六番 (本町 電話三九六六番 (本町 電話三九六六番 (本町 電話三九六六番

所溯 葉 在 張所 務 牛莊、 安東縣、奉天、

寒、造船業及附帶事業 物品販賣業、問屋業、運送業、

長春、哈爾賓 大連市山縣通百八十二番地

三井物座城會社大連支店

保険並に船舶代理

て同病者が一多数助かって居る 大連連鎖街銀座 堂食大階二 

無森白古 内内内水 障障障

蜘虫が寄生すると 病を起すことがあります。腹膜炎・黄疸の如きる危険なのは肺炎・盲脳下痢・便泌等を起したり

須町等話六四九六番 他 内 豐文 堂 他 内 豐文 堂 堂 大 堂

着 著 混**込** 恢近前横前

後授

大

ンゼリ

製一門司大連開議り乗船券差上まず製門司大連開議り乗船券差上まず

88

日,六

かんで田福の大脳がわざわ ・野は駅台渡の遊人だ。 そ

は本日午前八時頃は本日午前八時頃

中病の食め物故さ

大

期の開公に塗蓋映大の國間るせ博な

根思大の世教〈政が影親治寒の獨孤

やんらさせ動感か誰に

• • • 切封日二十月五 •

於ける諸曲界の元老さ

善

謠

滕吉五郎氏

階下

四十錢解放

天

糠郎一人二役

六

更にありません。灯火人などの住んであるや

わかりませ

五

を討った時なぞは随分離ろしかってきうだく、様があの変取方近

思った。十二ケ所の手傷

商全合全全全 三五三七四

四周三三- 駒四九八- 角

面親及び隣領事態を提りれる三大理由並に旅

かく手強いのがあるか なけてないのが多いか

名曲と難曲のみを選んだ

步步銀步

堂食大階三

口

一六日協和會館

(可屬物權數權三統

一つ三十兩回

野中の古寺さ

数一つつい

は何さか彼とか云つて延ばらてる」

何さか云つたな示現流の開題」

(64)

棋戰四四

HIER.

の看るこころ

精頭力

には

ピ

5 腦

8

のて居ります

敬

とはこれの日日のこれでした。

そして清潔と氣持のよい

、(雲仙行きは御祭堂

團募集

(A組

湯募 集田

覽

が からした北支那地方よりので、それから大きから大きへさ

展画一方の画観さなつたのも、元 御管子県殿以の代に及んで天下の 観作変生の観光を手動い合さして で大下の観光を手動い合さして

いれずして、住み置れた郷土 でれから次ぎからて、住み置れた郷土

の則

果

12

00

さして知られてゐる。

本学の

青い沿級等で共に大豆のお要配地のラチャハル附近が中心地でなり

満蒙開發の

雄大豆の

非常な

大連戦部所信託會社(記信)では一大連戦部所信託會社(記信)では一大連戦部所信託会社(記信)では一大連戦部が高されて発用十日關東時より重殺者を課牒。臨二株主總を合い結果、總合は本月三十日開東をの結果、總合は本月三十日開東

經由機關 勸銀、農銀、北拓

特

産

五四四十七

東新(引三元

專屬荷揚所大連市山縣道 專屬荷揚所大連市山縣道 電社左記の店所に「荷物酸送引受 育社左記の店所に「荷物酸送引受 本天、替口、公主線、線線、網線 本天、替口、公主線、線線、網線 四平街、長春、吉林、哈爾濱其他

利率四分二厘、經由機關手率 四分七厘 但し預金部

減資案內容

豆

【東京十五日数】本日の定例閣議 英志事項左の妲し 、糸質維持のため六千萬國の低 資融道の件

繭資金融通

大阪期米 大阪期米 「公司」 「公司」

閣議で決定

けふ株主に通知狀

東京十五日費 歌和中央食るの 『東京十五日費 歌和中央食るの 『東京十五日費 歌和中央食るの 『東京十五日費 歌和中央食るの 『東京十五日費 歌和中央食るの

日六十月五

年

新児歩合な下題ること四分の三パーセント以上に達してゐたのでは起さなかつた、因にコールマネーは代表表に先立ち從前の公定等の態事項により各方面で歌脚されたこととて市場に大なる反響の影事項により各方面で歌脚されたこととて市場に大なる反響の影響の影響を対したこと

11年 | 一年 | 1 日本 | 1 日

井上載相の話 であるが、米國の利下は米財界の安定さして財界各方面から大きな財特なもつここの意味の類待は英國総行利下の場合に、今回の利下が表面の関係とが大いに事情を同の利下が表面の関係とが大いに事情を回いては1つない、日優利下がこれによってもあが、米國の利下は米財界の安定との意味の類待に英國総行利下の場合に、大阪の動については自分からは同もいへない。

二分五厘に改訂發表

(四)

厘

引

日銀利下の

書がにつ

促進如何

公定割引步合

けは無待されてゐる
おるから今回の利下は金融市場の實際に遊師したさいふほか大な

然增口對

東京十八日より東京において開催 をれる日本概工會議所協議會に出 能のため大連版工會議所協議會に出 でした。日午前七時費の旅客機に て上京する響

○現物前楊(蘇地) 大豆(裸物) 大豆(裸物) 大豆(裸物) 大豆(裸物)

怀 二十 - 則五十錢

篠崎書記長

あず飛機で上京

さか、却つて無臭

出來高 七十車 普通大豆出來不申 ・ 出來高 四萬九千枚 豆 粕 二〇五〇 二〇六〇 出來高 四萬九千枚 豆 油 一六〇五 一六一〇 出來高 二十年 ・ 田來高 二十二〇 田來高 二十年 ・ 田來高 二十二〇 田來高 二十二〇 田來高 二十年 ・ 田本高 二十二〇 田來高 二十二〇

後 場(保合)

四十九圓五十錢

||阿波共同汽船

と、実然で級の揺れさて今回の料金値下げは各工場經濟者にさ約三十五四個により同社電力機収入の総一割に機能して居る、和月一日に遡り實施することになつた、今回の値下げ観は一ケ

の値下げや技術上の事で延出してるたさころぞく認可な得たのでの鑑可な得て関東殿に認可申請中であつたが、その間高銀の石炭ため昨秋九月電力料金の値下げの改正家に養手し同十一月、高銀ため昨秋九月電力料金の値下げの改正家に養手し同十一月、高銀ために軽くを表していません。

上海爲替情報

豆油 三七〇〇百箱台三七五百箱 田油 三七〇〇百箱台三七五百箱

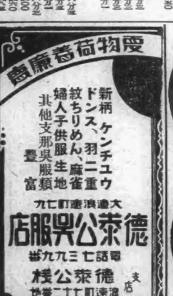
● 本語枚 「\*\*18\*(最初的)
● 本語枚 「\*\*18\*(最初的)

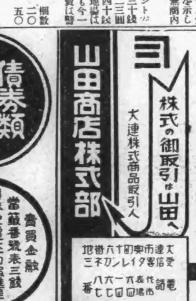
かにおける工場設立の一つに て自國に都合の良 でけばによって全

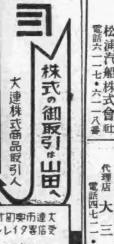
◆定期取引(単位後)

の支那進出を防止するにあるら の支那進出を防止するにあるら いたが、その目的は日本の下薬 のだが、その目的は日本の下薬 のだが、その目的は日本の下薬

當市弱保合







超勝人 五月大日

大月の定時職合總會を選へんさし 化かはかり、更に進んで仕入や販 本と演えんか、構込金の二部所至 を選い般がたるるが、それは主さ しているな会補祭地輸入組合は経験後 町の合理化運動を建し、健想以上の良 本来の目的に選進すべき時期に入 を関う教養的意味における金融 造するさころであつて、来る總會 を力人歩きが出来るのに、現城の 注目されてぬるが、各方面より頭 か、構込金の二部所至 時期間で強く認 事の合理化運動を建し、とは主さ でか何なる形象をみるかは非常に 本をのは、それは主さ でなるこころであつて、来る總會 製師で強く認 事の が、を方面より頭 加へ を対している。 をがしる。 をがしる 輛組聯合會 六月の定時聯合總會を控へて 各方面より注目さる 發表の上

よ滅資される豆信

□ 三三百百五五 二〇 □ 百百百以未十十十五五 ※ 未以未 以未以未以 気の 滿上滿上滿上滿上滿上 を キロワット キロ時に付った 契約容量 百キロ時迄の 電力の ※約容量一キロワ

2 最低料金一ギロワット一箇月に付金 電氣料金一キロワット時金 四 後金五銭 へ 現に料金で改正料金での比較 正 現 行 項 区 正 現 行 金四錢六厘 金四錢三厘 金五錢 金五錢四厘 金四錢三屋一キロ時間の一キロ時間である。 金三錢二厘 金三錢五順 金三錢九厘 金一面五十錢 金一川五十錢 付て一キロ時に 過の分に野追 では野追 金二錢九厘 金一线六厘 金三经二厘

花穂が眠の枝敷市場は、以前から 水の板輪をなる、大連を首め奥地 大豆は質易性糖さしても地方經 第二 資本減少に関する定款變更 の件 にお来式数が前記第一議案第二 での件 であり、但心 を数第六條を左の通改む、但心 を数第六條を左の通改む、但心 を数第六條を左の通改む、但心

北濱定期の前場合は大新七十銭において、大田一郎の東新は一個安に寄り五十銭に割り、新四十銭をおり、東京短の東新も一個十銭をかって反落か示したが當市は氣味場かっ東新は一個安に寄り五十銭に引け他様は見返った

相

商器 大連俱馬町十壱番4 借茶使覽大|包報選至 當 蘇春號 表三該

麻袋變らず 新行高値安値大引 物之部) 東新 が 明日 こ 

今朝海外銀塊に倫敦近物十三片十六分の三(同事)組育二十八仙八分の一(同事)組育二十八仙八分の一(一分の一安)五貫四十四留比丁度(十六分の一高)之間々を入れ、美米クロス八十六仙十六分の五(同事)米支三十一沸八分の一(八分の一高)米自四十九州四五、大仙十六分の一(八分の一高)米自四十九州四十一十八十四十十十四十二五、湘豐六十九兩八五、上海 全は温保合を一十九兩八五、上海 全は温保合を一つである。

大連汽船株式會社 專關荷取扱兵(大連數島町) 專關荷取扱兵(大連數島町) 東國荷取扱兵(大連數島町) 電話七二七五。七八六八 電話七二七五。七八六八 電話七二七五。七八六八 電話長五二六五。四六八一

会替及受護山歩 会替 受護 代謝 田 日で 14つ 天の 1 1111 元 19つ 天の 1

三十四四步日

●乗船切符装度所

大阪商船餘大連支店



質易の約半ばを支那に資ふてるがあり、その間に伍して、輸出があり、その間に伍して、輸出中心として有する利害關係の對

上問題に関し、現在の支那な就中、列側が銀價の安定乃歪

務省要人の談さして中國政府都を十四日の華府電報は米國

基いて側面後、それぞ

はずして、しかも列國で歩調を名我國が會議の指導的立場を失

減俸案は諮詢せず

身分保障のみ奏請

樞府は成行を注目

(版內市)

國際銀會議ご

の論この國際會議における有力 来の起草委員さなつてゐるので 不、カナダ、支、即度さ共に原

所領域の如き立

社

說

日本の立場

昭

政治問

早や忍ぶこさは出來ないこま 幅され堅迫されてゐる狀態な の立場さらて、國民の財

沙州

陸軍の整理方針

日

を開き教育総座並に軍部整理 を開き教育総座並に軍部整理

臨議の結果左の如く決定午

民政黨委員會で決定 軍部整理を徹底
せしむ事
・十七個領側を十四個領側
・ 理・中等校及びその教員の定員整 意見を変換されたいで挨拶を通っ 意見を変換されたいで挨拶を通っ が世界的重要問題なればその影響 由して廿四日頭大連に入る豫定で 日東京出登朝鮮、宏東、郷天を郷 日東京出登朝鮮、宏東、郷天を郷 日東京出登朝鮮、宏東、郷天を郷 日東京特電十五日建 朝戦におけ

十四個師則に被 日本が主催國さなるべきや否 今度の漸鮮能行は別段意味があ今度の漸鮮能が記者に對し

東作に、時日か要するよのな除 要作に、時日か要するよのな除 要作に、時日か要するよのな除 要作に、時日か要するよのな除 連転部、築城部、運輸部、要塞 通転部、築城部、運輸部、要塞 通転部、築城部、運輸部、要塞 が特務機 體の何れが提唱すべきや主催阈さなるなら政府、民間

案に對する特告案

動光代理公使等は會議を辞職した

麻臓可決した 麻臓可決した て公布せらむる事に決定し十五日 孫文演整祭記念日に國民政府なし

社員會は獨自の立場から

慎重に意見を纏める

遺教引繼宣言

約法公布期

(日曜土)

治廢問題の 意見交換 政友外交委員會

糸價對策を決定

近く委員會で低資融通決定

午前十時對露支外或物別委員會心 「、蒙古の風族及び民政保障案 「、國民會議に関する各國政府の 待遇改善要請案

つき非常既は協議の結果六月一日『南京十五日後』約法の公布期に

「南京十五日数】十三日間會を通一

ける決議發表

の統制その他は糸葉の

の指立制限の外なく方法、以上の指立制限の外なく方法、以上を設け、主義の制度必要なり、関係を表す。

福の機能に打たるとなるを得ない はへば関は、偏然ながら、今日

(可當斯里斯祖三第)

慎重の考慮必要

藏相官邸の協議會

銀會議主催には

感慨深る四平街 江半

同夜用代は潰んだが、便し

たを登せる歌園 (1) でたしか は、この親同じ目的でたしか。 たい見る歌劇なる寒畑 か悦立する (1) が悦立する (1) できる (

は関するでは、他に大小では、他に一般の兵跡である。それが今見所や低いである。それが今見所や低いである。それが今見所や低いないである。それが今見所や低いである。それが今見所や低いである。それが今見所や低いである。それが今見所や低いな家である。それが今見所や低いである。というないが今日の大いな家にあります。他には、他になる。というないないでは、他になる。

豫算、決算關係の

営業狀態を報告

昨日の満鐵重役會議

宮內省異動

## 廣東石井兵 怠業 當局は嚴重 里に警戒中

して職の形勢わり常局酸重配成中 日の本会 して職の形勢あり常局酸重配成中 日の本会 して職の形勢の形勢のでは先頃本意楽 民に記念 して記念 本會議が終て直に全國に宣武 北線が窓に基く置記文は十六 北線が窓に基く置記文は十六

米紙特派員 王部長に抗議 外相辭職延期

今回謝東州水産會が背島所職機能

原新拓相は

來月下旬に來連

滿鮮所管事務視察に

ちうからその上で決めるべき間 からうからその上で決めるべき間 からて りそんなお祭り騒ぎは御 ちらて りそんなお祭り騒ぎは御 ちらて りそんなお祭り騒ぎは御 がったいか、ナニ 敷迎攻めに達ふだ ちって りょう からその上で決めるべき間 かっかいかい アッハハ なが、最近主正年氏はアトマンド氏が、最近主正年氏はアトマンド氏が、原が、最近主正年氏はアは熊獣を進出したたと登表し支那新るさて大いに徹底と大いに徹底して氏に変して氏に一般には東部を送った。 『東京十五日登』ニューヨーク、 タイムス北学特派最アーペンド氏 は過数園氏政府から同政府に不利 は観覚をなしたこの理由で追放命 な報道をなしたこの理由で追放命

治安の

維持が目的

が警官は

国の党操を行った 関の党操を行った

和蘭商銀の兌換

谷へれは要響

外蒙問題對策附議

重光代理公使、田中大使傍聽

きのふの國民會議

であると成十里もある。四季版と をおき、は、一般のであり、またそのでが、またそのでが、またそのでが、またそのであり、またそのであり、またそのでが、またそのでが、またそのでが、またそのでが、またそのでが、またそのでが、またそのでが、またそのでが、またそのでが、またそのでが、またそのでが、またそのでが、またそのでが、またそのでが、またそのでが、またそのでが、またそのでは、は、一般のでは、一般 

大大学の大変のあった。 で、一般ないで、一般 消滅文書課では暴に規程類最の整 三、身體の清潔・検査の前夜は必 ・大浴も身體各部を清潔にも頭 要は成るべく短かく刈り細は越 ・大浴も身體各部を清潔にも頭

規程整理

滿鐵地方部の

中食の携行威る可く携行のこ 際は必要以外に所 合同問題の

一萬六千枚

・ 地市町村長の奥書護用を受けたる な志願せんさする者は顕著に本籍 以小學校の電話が使 初小 を くっかはつたら 編の さんか とっかん なっとて で現これが とっとて で現これが









賣物なく

大豆聢り

漁獲物の

見を終り引下つた

軍縮委員會では問題にならぬ

來十八日始まる 今年の徴兵檢査

受檢者への御注意

◆定期後過○湯

本大 豆(强調)單位厘 五月末 今約 6億 安億 大引 五月末 今約 600 今至0 今的 八月末 今約 600 0 今元0 600 出來高 百二十九車 本等通大豆 出來不申 本等通大豆 出來不申 本等通大豆 出來不申 本高 與出來不申 本高 與出來不申 本高 與出來不申



〜浦鐵慰安車 (SAC 機能)

○ きのふ出發し

果樹組合評議員會

大連を中心に

戦史を編纂

現在解へられてぬ

十八日を占領記念日さし大連解社從來は二十八日既多かつたため二 これ等の問題についても選様を行されて来たが異して何れが異して何れが異して何れが異

知れる古老、鬼響により状料を の代誠その他常時の機様など常時 地の地形、市部の構成、日露雨車

サラザオ放送をする等であるがそれ 学する意響であるさ

東京九段精岡神社の魁代宮の主に で明治、大正、四和の三代に亘り が進に上つたが同宮司は関東軍司会 途に上つたが同宮司は関東軍司会 を東の駆俘で約十日間に亘り が高は承輩を機会に大連、郷城、長春。 である、なに同 である、なに同 である、なに同 である、なに同 である、なに同 である、なに同 である、なに同 である、なに同 である、なに同 である。なに同 

◆定期後場○『位記

**鈔票軟調** 

も銀塊安を見込んで軟調を辿つ釣後場は上海標金保合を傳へた

福条 大阪三品の大引は期近保 合作ら中先各限共小一脳高に引締 銘柄 約定知 値 段 梱数 観期 八月限 一二七、九一〇 組来高 十梱

不不三言

新 引寄引寄現。

東新(寄)三つ

內地東新高

の歌歌像の短く歌歌を記される歌歌が、大戦で上京、大戦、花野歌の短く歌歌を上れるので乱々来る十九日の歌歌を記で大戦が歌がくり込がついた。大戦、花粉映紫はるびと、大戦、花粉映紫海のには、花粉映紫海のには、花粉映紫海のには、花粉映紫海のには、花粉映紫海の説明遊には、

常市も聢り

沢午五日

今腰けて見ての機様な標準するこから一名づくの委託を出し季酸者

神鞭理事上京

を思います。シャリフナルー ・ ウィッテ酸の名を並に高れること ・ ウィッテ酸の名を並に高れること ・ カイッテ酸の名をがに高れること

日露役の

張本

卅三株の行方

佐二郎

進部長孫科、航空虚な観察長等

大統信、客仲俊、鄧

慶東人は嘘に縁

無疑の響な、周

関東州で、一方に五銭か六銭の脚東州で、一方に五銭か六銭であるこうが出來ないが、大街むるこうが出來ないが、大街で、関節を添に包まれ

朝が確は革命さ続は人さを結び を始めさし五百や干ではない。 遺部長孫科、航空虚と張黙長等

し、関って機計か安くもなり、其のが小賣市場へ買すぐにいつてく

の上一日文新館な品があがなはれ

る スーン地幣=南方より温泉のある 大 殿 を受ける地方では日本、清河、 大 殿 と 受ける地方では日本、清河、 大 殿 と で と り で あって来の で 力 表 で と り に か で あって来の で か に 必 で あって来の で か に 必 で あって来の

かではなく概能激素な本家野ひ火が思ふにそれは下手な弦響りなん

粉

の機能だけは遥れく至る底に敷する晩番美な死機狂みで怒り上げる晩番美な死機挺みで怒り上げる晩番美な死機をひて怒り上げる晩番美な死機狂みで怒り上げ

ったよ、実験な、さむきになって、か、難い融重ですよ、さ遊場を喰います。

なが更けて人は売削さ味噌汁は ないなアさこぼして締つて行さま、

愛していけない、

聞きものであるやうに、我々の

漁港を鳥瞰

T

鮪を高

3

0

間るも

ることになります。 を が、水産製の養暖で製さか、色々な が、水産製の養暖で製さか、色々な が、水産製の養暖で製さか、色々な が、水産製の養暖で製さか、色々な がでいるでせうが、結局は がでいるでせうが、結局は がでいるではった。

吉

さった。 さった。 さった。 さった。 なった。 ないのである。 であるに繋し機能化度の反離り収配かた平大院 であるに繋し機能化度、1平内外、 ラヤバル年、支那一石二半、日本 の全國平域に一石八半さ、ふ戦学 であるに繋し機能化度、1平内外、 であるに繋し機能化度、1平内外、 であるに繋し機能化度、1平内外、 であるに繋し、1年、 の全國平域に一石八半さ、ふ戦学 である。

日 総会練りの苦嬢に立たとめてある 新龍武力解決の撃に出ないであら 新龍武力解決の撃に出ないであら

報 内外に繋する臓目上さか、膨れれていばな難さかが至はまた北方もない財政難さかが至はまた北方を飛ばに見た黙

がある。之れが色々の方面に発 でく残々で味噌汁と丹前さ、そも ではの親身が無ければ承知しない。

の方面にない

つたように的紙さ

八百分の三十五で第一位次

の音ふ所を聞いて見る、その場合 をと綴いのは概さ云つても昨今回 部内に於ける游☆園のはびこりが であらればならない、四く 南京(府部内の管吏職院は全数 であらればならない、四く 込んで群氏自身の 並動から 反射派 た客観的ない、然とことではそうと 際殿がない、然とことではそうと

五千で百分の二十

はなかった、が、用來ることなら ただが起はこれは監然だと思っ 一覧我 ただが起はこれは監然だと思っ 一覧我 で、別に不思議な事とも思 行(先々

◆ 営て彼は有力なる 常改派の銀袖であつたが

を主式での内臓に卵したの の変態政府が成立する以 の変態大臣等の実験に動 とて活動しき民味務大能 とて活動しき民味務大能 とで活動しき民味務大能

歌してる~神座の高い彩教の豊かんなが をいか教教説は「なってるる「極関地 が大歌り来なら支

が能これは施門其他所能是対象法 をは二石を突破してあるのであるが 等も影響するものさ考へられるが のかには一石を突破してあるのであるが が能これは施門其他所能是対象法 でいるが

られてるるのである

戦地がにこり輕視できり事情である。 無くの症なすることは日本、満洲、駅 でも様子べきか兎に魚かいる法則 壊の症はこ ラの多い土地に経高能率を上げてる

かっての屋根できるでは、 変力でないでは、 変力でないでする。 変力でないでする。 変力でないでする。 変力では、 変力でないでする。 変力でないでする。 変力でないでする。 変力でないでする。 変力でないでする。 変力である。 変しである。 変しである。 変力である。 変しである。 変しである。 変力である。 変力である。 変しである。 変しでな。 変しでを、 変しで

を見つけて、それに乗った。そも

大連沙河口大正派八五 三共商會 本病 精合廳、特製大博士あり

て約五分ばかり

も裏通りの張い水

すの平屋であ

路か送らせるさ、彼は使から降り で、要なる手先にキラリさ光る観 なかさこからか読み出して俥夫に

第日五十

是非御試用あ

等大 福本生後八ヶ月頭部漫茶 新州山 异後町二三番地村井清 號州山 點あり尾五寸他 和那小山點あり尾五寸他 教授楷书行李草寺豪帝家 化二一九

水蛭販賣

木 治療

洋服類售费

大生 1 に対して、 2 年中及中風 (入事不書の場合、 半身不関の場合) (入事不書の場合、 半身不関の場合) (入事不書の場合、 1 に対して、 1

電話

滿洲 日報 社

して天の一角から郷下つ

スなも思ひ出さず 世に死ん向けるやうになってあるもいさずモラにない。それは一般になってあるもいさずモラにない。それは一般にはアルフォンソ十三世に親は、大きによってあるもいさずモラ氏のである。 は周知の事實の一九二三三世別知の事類へ牢獄に投せられたが たがアルフォンソはこれたがアルフォンソはこれ 皇帝に誤べるさころあつ 皇帝に誤べるさころあつ

できましい立志歌は苦臓できましい立志歌は古して立つまでには いできまして立つまでには を傾けたのである。

は完全に日素戦争中にアメリカの音で、南溝推動になって快急地頭のイマーンフから質り渡されてぬたので、後塵新平二人が此の事で、知のつて快急地頭のでです。場所を激したさ云ふ話を得信とかいました。機としたさ云ふ話を得信との事でもできる。というないのでは、地域になって特急がない。 人は軽して数人ありますか。そしたでき事まして居るのが呼下萬の日になってとは監然のロシャよりの戦利品の日にできまして居るのが呼下萬の日に

ツアラーソフの大流脈か

を からになった 没質 練り交ぜたもので し給への 便は心に さればかりの後は、いっちのである。

た料能の、個

「往那邊去吧」」

た。そこには恰もその入口を感がれた、極目立たの切れ込みであった。それれた、極目立たの切れ込みであった。それれた、極目立たの切れ込みであった。それのでは、一次に振れる路大があった。それに、一次に振れる路大があった。それ ポトポさ歩き出した。

たさ 「老頭牌」の廣告があたりの 立ち、なほ又その路水を同じもなするかのやうに大きな機棚が一本 く思はすためかのやうに、べたべ

算整 の御用命は 白帆 天帆 此印に限るを被は 此甲に限るとは

| 一個 | トマリ、マットの設備あ | 大連吉野町六 電六三一一 | 大連吉野町六 電六三一一 | 大連古野町六 電六三一一 | 大連古野町六 電六三一一

金州一定期二回

大連市武蔵町七 貨物自動車運送部 概括七三七〇番

**宁般學生用**ト 4 侧腕時計六圓以上

テ着荷

町葉青市順搬

店商野吉

店商の等吾

外の服洋紗羅

貨雜諸

を寄立御度一たしまめ始か いる下較比例を設値さ物品

御氣に召ます是非御下命を値段も安く 必ず皆 様の 順

高句で强い强い 自轉車オニ號

新古洋服いろく 式 用 着物

デステムペー経大病 近江町電車停留所前 石井家 畜病院 電話ニー〇四七番

新裝ト

ヤマ石鹼 旅順音葉町の

华打面入

六

+

錢

山

**第**語四等

春

0

子

供

服

陳

列

會

選特

流行

H

ル傘傘

列

會

春

春

3-

貸間

大家 病病縣望住和八、六、洋 下室賃冊四回機花器:高電三へ会 下室賃冊開發西間敷八、八、二、 で、中三 電話八九六三番

**浄チチモミ大郎 電話四六九二番** 

**学家** 二葉町一五 高等住宅

住宅

標花臺電六六五〇

婦人 病ハリ、キュウ 鈴木丈太郎 電話四六九二番 鈴木丈太郎 電話四六九二番

苦 子 器

**林春** 性黑丸炎鍼灸 七彩

敷着お望みの方は 大・チ ク 電ニニ〇六六

東京族的優遇 動人の方を 家族的優遇 動人の方を

電話八二〇三香 一四能登町六七 

東京ステムペー社大病 東京の大学院 一選を家畜病院 一選を家畜病院

西公園町六九

順支店



000000

日案内

特田順天堂

れない。けいご に捨てられた霊樹の皮のやうに乾 発上の見るというには かられた では いっという いっという には いっという にも かられる いっという にん いっとい いっという にん いっとい にん いっという にん いっとい いっとい にん いっとい いっとい にん いっとい にん

上に出る派ぢみた 一本が強出するた 受所なのである やうだ。それ 採用 年齡三十歲前後の男子履 上須町區 常磐商會支店電門臺灣 上須町區 常磐商會支店電門臺灣 本人來講 電力 美人館 電六一四九番 外交 男女を不問年

はしたならば、無難にしている。そのが、無難にしている。 を表があればればならな、便ないです。そのできる。

和

表だけは開けられたが全く取る をのも取破すだった、第一まだい。

だったさかで取るものも取録す大 の南下を喰ひ止めるのが緊急目能 の南下を喰ひ止めるのが緊急目能

(可認物便斯坦三州)

反

尙勸進元さ

決ら

内以行十五 迎款書投

筋書作成の眞最中

六

早い見物はヤレ全国的大師観だヤ

って進路一蔵に際出してぬる、 はない、変更がよく変れるさい な話であるがこれは突びごさで な話であるがこれは突びごさで

良も公平にやつて買いた

は歩けません、至急にオラスで 日一度現地 職をして下すって はか何ですか、郊外住人

五 年

二番目揺覚は今や読者怪成の顕起れからだ、樂屋関東におけるそのれからだ、樂屋関東におけるそのれからだ、樂屋関東におけるそのれからだ、樂屋関東におけるそのれがらが、樂屋関東におけるその

女中

を七一 正五

印書 邦文及英文タイプライター食配部通九六 英學會プリント社 原部通九六 英學會プリント社 アイピスト養城

邦文 短期業

なぞに地てる臨時なるの野谷ので、への学経の

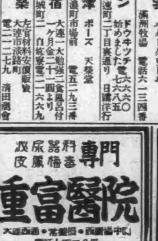
を カスターレッキス (カワ サンチラマリン・カスターレッキス (カワ チンチラマリン 大和 尚養 兎 関 大和 尚養 兎 関

一DIO六電·五二町野吉連太

密嚴守

「躍活の屋質

整 整 基 法 法 法 法 院醫中



中町 新古春 電七四三五 ・ 本町 新古春 電七四三五 ・ 大谷 商店 ・ 大谷 商店



牛乳 メメーク



**国記七五二八号** 

牛乳 大連牛乳株式食社 電話四五三七番

マチュアの

營業稅課稅

一華商は既に承諾

忠魂碑の建設

斯界を刺戟 本社支社で先づ座談會

現は花学が力及ばで抵伏せられ臓の弾丸の除ればできずが力及ばで抵伏せられ臓の弾丸の除れるとしたがら身

(四)

滿洲紡績製造

綿糸布の賣買禁止

遼寧財政廳より電命

赤に蹂躪される

五

の 機がら補助金を得られない場合は 一に敷設する事に纏まつた。 著し流 がは田中組から勢からがで敷設し盛 がら補助金を得られない場合は で敷設し盛

はちる。配して共 従来一ヶ所であ

春は鎭江

山から

龍背へと移る

一日の清遊に好適地

撫中の退學生が

窃盗や詐欺横領

映畵會

事事で、 ・ 大きなのである。 ・ 大きなが、 一二日領事館送り

◆:難に響口無管内二衆端に放て ・一般に響し無管内二衆端に放て ・一般に響し無管内二衆端に放て ・一般に響し無である。 ・一般に要したので十四日 ・一般に要したので十四日 ・一般に要したので十四日 ・一般に要したので十四日 ・一般に要したので十四日 ・一般に要したので十四日 ・一般に要したので十四日 ・一般に要したので十四日

傳染病豫防に 消防隊活動

五十分費北行した

原本の ( ) で ( ) に か ( ) が ( )

大照説行終って古備郷翠帆や混織

兵第三十八聯隊附に轉補された十六師原副官を免ぜられ奈良歩十六師原副官を免ぜられ奈良歩

12

多数の結婚既は最近珍しいさ へ 物は でんだかがる かましん かいまましたがいかる 振編を以て抵抗して來たので 直に逮捕せんさした感幣を取け では、 を表する。 をまする。 をまる。 をまする。 をまする。 をまる。 をまる。 をまする。 をまする。 をまる。 をまする。 をまる。 を。 をもる。 をも。 をもる。 をもる ◆…去る十二日午夜八時下過ぎ毎 養州王子整紙會社前の江港に松 養州王子整紙會社前の江港に松 養州王子整紙會社前の江港に松 大学院を組めることになった 人学院を組めることになった を満三歳より十歳ま、の水見に服 でなが三歳より十歳ま、の水見に服 でないこれの病野を接続する。 でく常属は無管が振してあるが今 消防隊から配付 街 大大学教徒は一次により同地会会局では 一名 自下腹部賊喊鬼はに同地歌烈 大名になる腮賊喊鬼はに同地歌烈 大名になる腮賊喊鬼はに同地歌烈 大名になる腮賊喊鬼はに同地歌烈 大名になる腮賊喊鬼はに同地歌烈 大名になる腮賊喊鬼はに同地歌烈 大名になる腮賊喊鬼はに同地歌烈 大名になる腮賊喊鬼はに同地歌烈 大名になる腮賊喊鬼はに同地歌烈 大名になる腮賊喊鬼はに同地歌烈 大多 総五腿か猿鷲逃走したが賊魔後入 一名 自下腹部賊喊鬼音とだが賊魔後入 高洲及び朝鮮は全く始めてなの 高洲及び朝鮮は全く始めてなの 高洲及び朝鮮は全く始めてなの 高洲及び朝鮮は全く始めてなの 高洲及び朝鮮は全く始めてなの 高州及び朝鮮は全く始めてなの 高州をです、私は毎年二月さ五 は上海、面京等南支那に行つて は上海、面京等南支那に行つて して全部返興に顕微じて居にさ 弟兄山に馬賊

後四時より縣前極半旅館に於て第四平衛舎機會社は來る二十三日午 電燈會社總會 

上等兵志願者は其の数二百數十名 た難行とた約本部に於ては之等志願者に禁しなが本部に於ては之等志願者に禁しては之等志願となって居る此の参數の志願と 本事さなって居る此の参數の志願と 本事でなって居る此の参數の志願と 本事でなって居る出の参數の志願と 本事でなって居る出の参数の志願と 本事でなって居る出の一般では 本事でなって居る出の一般では 本事でなって居る出の一般では 本事でなって居る出の一般では 本事でなって居る出の一般で表記を 本事でなって居ると 本事でなって居ると 本事でなって居ると 本事でなって居ると 本事でなって居ると 本事でなって居ると 本事でなって居ると 本のを関いた。 本ので表記を 本のである。 本ので表記を 本のである。 本のでなる。 本のである。 本のでなる。 本のでな。 本のでなる。 本のでなる。 本のでなる。 本のでなる。 本のでなる。 本のでなる。 本のでな。 本のでな。

急勾配を改修

途に絶命

まっ九日午前二時時底順川端町京 をの後郷挑歌化も十二日午後三時 が馴染客たる大連龍田町金正滿(こ が馴染客たる大連龍田町金正滿(こ が馴染客たる大連龍田町金正滿(こ を)と合意の擬イラズ心中を全て服 を)と、

東京鐵道局主催の滿鮮視察園一

日午後一時から市街地の響倫派智

市街警備演習

金が中容響級局長、米内山民政警長は大連終制の場合のから御選節明上げたる他在旅谷學校生徒は雨中には大連終制見送り明上げた酸聚軍上げた酸聚軍上がたのである他在旅谷學校生徒は雨中に

完備せるため大事 至らず消火を 滿紡の小火

局の保險成績

滿洲を見て 褒める梅幸

の何に結の程度減の体表を 1、何素の

想のお婿

(21)

トつて二国九十銭から五回ご

お姑さん位あつた方が賑やか

た、\*・ス・ジャンテだのラン」が森本温子さんのお母様の望み

ペー矢張 り娘へただけあっか

んだ事もござい

たりお針をもつたり

係果のない様で、母の私さいだらうさ存

東京市芝區田村町六七四季 無蓋 東京市芝區田村町六七四季 無 十字病院前 第一二四六番

東京樂院本店

東京藥院支店

極端は前便早く

原因症をも此際領持よく退治せられよ、初期

午後三時。倦怠

活用の時

SIETI

店にて販賣す萬一島切の節は代金を添へ左記配三十鶴、五十銭、一面、二額、溌料内地六銭ヨクなります。

阿栗界に一大衛 智し、往々意思

の餘病をも引起しますから、

を奥へた新權威樂「テー

ム水」の三大作用に

は血液を悪化し

殿高女花県中運動家で鳴らした波

ボーイ一人とか配けないでお探喩さのお母様の意見から聞いお窓に

「外に出してお料理の榜古なんで見えなければ」

那時え毛

ミナイン

い背の高

立てく

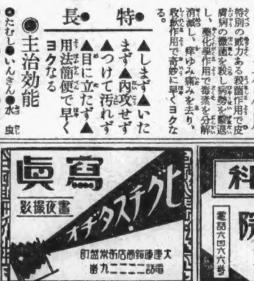
るがが光線をよく

校もく、りつけて置きますさごちから風が吹いても飽きれる事がありません、花は早いので六月末

町 したら支柱を中心に四本の支柱を立てて上た真ん中の支柱に一ケ所にくくりつけます、特度館に旧絵にくくりつけます。特度館に旧絵になるが出來らわけです。これに

に一遍位水肥いやつたがいとのでしては初めの花が咲く頃まではその後は一遍で、とのですがその後は一遍でした。

鯖料理の粹 大阪で自慢のお壽司 うだつたら水を遭る必要はないのの要は日中は一寸要れた機に見えの要は日中は一寸要れた機に見え











治 明 ルメラマキクルミ



るか 

とよに三ッづく付きますから 原館

元ちたらふ室の中に鉢の金魚は上泳ぎせり かく鉢の水のるみけらしな金魚死におり

と脚つて見て温り銀が無かつたらと脚つて見て温り銀が無かったられたやりすがよったら本の根元の土が白く乾いたら上をシャベルでむが白く乾いたち上をシャベルでむが白く乾いたち上をシャベルでむけるでは、一番五合佐宛やりますと大

では一種から本植に致します

さつぎに咲き出でてあばれ此國の春逝かむ。

汽洲短歌同人 柿

本

江

を時に十條位からです。水肥の作りだは今から流州を 一半、よく混ぜ充分高速 一半、よく混ぜ充分高速 一半、よく混ぜ充分高速 す寒へ

初めは一株

につき五合

徂

とされ意とか申上げませう。とされば、愉慢とれからないのとでが実しいのと花瓣のながいのとでがり、情度とれからないましたが、愉慢とれからないが、対していのと花瓣のながいのとでがリアは年々一般のなが実しいのと花瓣のながいのとでがリアは年々一般の

タノデ 太郎ハ トピアガツ

Ħ

シュッパツノ

ドジンラ

**膚病退治** 

共に日本

牛夕へ

日

丸

1

次

朗

ヨロコンダ「ハヤク タベ

方法と注意の數

室のちに帰一つ飛びるて削けかり祭のぞよぎ遠くきこゆる

上た覆ふ土は最初から厚

です。様の出方は野生で一つ置き に四がに出て來て更に一枝から三 です。核の出方は野生で一つ置き に四がに出て來て更に一枝から三 があった。 蕾は必らず

にして行きますさ、枝が花の生長にして行きますさ、枝が花の生長にして行きますさ、枝が花の生長をが八方に擦がって眠く恰好よくなります、大き

の無いトオク慰さ、極端なこの二悪化が見えます。デリム(鉱)の気のいいとなっ、デリム(鉱)の

(当)の後いこの帽子は泣るさいふより、数せたさ、極端なこの二つが我嫌鈍に晩死機を埋めてるってりょく縁)の殿いアマメン壁と、全然ブリム 一般にアマソン歌と、全然プリムードをうけて型の上に思ひ切った 系統の頭かに明るいものが若いふのです。色はローズとアルウ

松

ヨ用は▲ ▲ しまず ▲ しまず ▲ しまず ▲ しまず ▲ しまず ▲ しまず ▲ で で で で で で す 本 で す 本 命可河三場広西市運大 世 0 一回 五 話電











に毎樽一



呈



これを表験

してゐたが本年度

こく御居間に御職りになったになり最後に一同より歌書を無覧に入れて同十時学殿下は州帯館職に入れて同十時学殿下は州帯館職 新に活動する諸行は健康が大切だ から身體な大夫になさい」さ何間 なしになり色を中央時代の思ひ出 と願る御覧を遊ばされ一同と御歌を殴下に對して自己紹介をなし殴下 ートコースに入つて同窓性一同はた、夏に同七時学館を變へてデザ れに答へられたのには一同感激しの健康の含めにしき画を繋げてこ に活動する諸っは健康が大切 高もので端十一年八ヶ月にもて島 長自四十九種六(約四尺九寸三分) 世歌四十四年八(約十一貫九百四 十六匁) 腕腿七十二種八(約二尺 十六匁) 腕腿七十二種八(約二尺 

滿鐵馬術部勇士

局等馬術等を台覽

閑院若宮殿下市内を御視察後

一大學軍が來る

札幌にて開かれる北海道技・原東の化・農工・製造・水・原産を大の水を七十十二日 今年の明大は素晴しい出來 満俱中澤氏の歸來談

コーチの方法も打撃中心主義でつて居る様です、フイルディやつて居る様です、フイルディングの練智なごは従来より進かにかくやつて居ります、之ば私達等業チームが従来行つて居る様です。上京ついてに招待する各チームの交渉もしましたが民今のさころ確定したのは アラメダ だけで六月二十七日頃ファースト、ゲームなやる像定です。六大學の方では早慶明の三チームの中の二チームが來てくれる筈です

滯坑爭議團檢學

を所か見撃した 変か開き年後二時頃よりそれ 変か開き年後二時頃よりそれ 店組合支那町万龍合

日 二日目の勝負 相

嫌疑で

五日發】大相撲二日目除 光 さ青薫品の戦明を開かされたが、 音点をするすの部長、それからそれがあるりの部長、それからそれがあるれば一本四十銭でシュー 明さ同時に部長の顔の表情を見かたいと思ってる作歌屋さん獣のたいと思ってる作歌屋さん獣

れは外國人は勿論支那人にも

育場にて閣価されるが射紫料は會 日午前八時牧より春日海市民射撃 日午前八時牧より春日海市民射撃 が、部立、夏春に飾つてから日本版を覧入れたのは輸出帳形とないかさは記者の極像だ つきを確った

洗ひ

睛れする

【東京十五日餐】十四日の飯用ソーンテ盃戦争二回戦を縦左の域も ★グラッン 南河野ブイルランド 

(則影響展高層三層)

ビュッシュ

明東觀學称為、は今回大院報日新一段で式九カンと云った立派な機構的全國鑑麗像良見表彰に関し州 で州内の男女な通じ最も優秀の鑑問の全國鑑麗像良見表彰に関し州 で州内の男女な通じ最も優秀の鑑問の全國鑑麗像良見表彰に関し州 で州内の男女な通じ最も優秀の鑑問の全國鑑麗像良見表彰に関し州 で州内の男女な通じ最も優秀の鑑問の会員を表明を表現した。 大、一般場份ン学澤達維君(春 男女二名の健康保健見薫を推蔵し子 吉井清高君《朝日校〉湊戸 被の試みさんて全國各小學校よりたが右該協者は 東朝大朝殿新聞社では昨年日本歴の著告に基さ十五日審省省本 健康優秀兒六名 開東廳學務課で審査 **\*1** 十五 1 午後三時

たこれが表験をなすべく全國的に が選続機良見量を育合で機や物質の を結果が縦よった記六名のお子さん が選続機能を引きを育合で機や物質の が選続機能を引きるこれでは満洲 大火御 電車 根町の大火を雕し召さ 救恤金 追突し

百二十餘名が公野八王子市第二 車ん配う途 電観八王子代電単二幅の多字のである。 六名重輕傷

ド・ペラスコ氏は心臓病

、く早く御申込を願ひます、陳標御申込は電七九七四番へ日の御清遊に二千名の準備が出来て居ります、参拝開體は成る日の御清遊に二千名の準備が出来て居ります。参拝開體は成る

藤原教

は大破されこの鳥 から来た電単が

電 大の野球酸は十五日午後四時二十 大の野球酸は十五日午後四時二十 大の野球酸は十五日午後四時二十 大の野球酸は十五日午後四時二十 で (壁) 関氏衝蜒の下に郵天炉吹で で (壁) 関氏衝蜒の下に郵天炉吹で で (型) 関氏衝蜒の下に郵天炉吹で で (型) 関氏衝蜒の下に郵天炉吹で で (型) 関氏衝蜒の下に郵天炉吹で で (型) 関大衝蜒が変じたが八世 師

通行中袋叩き 本社参觀(十五日)

計店前を通行中突然同所を通り合後十時代ごろ沙河日常町上々堂町後十時代ごろ沙河日中町正々堂町で、場京鹽田著一(1人)は十四日午銀工場京鹽田著一(1人)は十四日午 四會附屬女子

優れ

たる

1

0

必ず勝

0

料理屋大會一行 旅順を見物

ツセフォ 農林省推薦機 各府縣農會

式卜 御指定品 (製造直卸) 農事試験期 + ギム バーチカル

獨得の特殊作用 安全短時 集價一瓶參問

に應用の目的を建 用を以り

お届けて十五 

市内質別所(大阪屋館青店、川東洋行) 日費金五十銭(自慎樂部に於て前鬢取扱) 六日午後七時半 口 雄少 1 年 演奏會 協和會館

百十數戶燒~ 大火 後拨 主催 滿鐵社員俱樂部 滿 洲 日 報 社

州内小學校から

新潟

忠整地境内は総所建設につきないを変します。 塔守宿舍增築

大連市公

にはどりるさ

支米。

一時よ

風震工場

隨 お忠宗は境所は無所がいてつき協議とたが美観を損せざる程度にていまるが、大気を損せざる程度にて 大法寺の遠忌

遠記 沙海口大

十八日午後一時より四等藤四天王十八日午後一時より鬼子母親、同七時上和荷大紙、三時より鬼子母親、最上和荷大紙、三時より鬼子母親、最上和荷大紙、三時より鬼話、同七時上和荷大紙、三時よりと話、同七時上和荷大紙、三時よりと話、同七時 海際教が総で間極大値正を逃へて、特に管長酒井月ሺ大僧正の代理滿

一ク十四日登」が名な動曲作家 飲料 数强

奉天勝

七で

對撫順野球戰

進電話 洋二十 ... 場馬ルトクド 院 醫 江庄場馬 八七五八話電·話搖盤常連大

壯丁祝賀會 八日午後六時出

4 8

大俱、工大ラグビー

有濟算人 松 帧 隆

朝王 8 本各 地名 産

帝王の煙草 煙草の

元世 谷

式樣

大

股下の平時的な網性格は勿論ですが長いこさには感心しました、股下は大正十年御卒業ですからもう十年になりますがわれくの姓名まで神記憶になってゐられるには恐懼に堪へませんでした。 股下上は顧る御・ぎで學生時代の ましたがポ上一番年少の中村 りましたがポ上一番年少の中村 りましたがポ上一番年少の中村 りましたがポ上一番年少の中村 りましたがポ上一番年少の中村 りましたがポ上一番年少の中村 りましたがポ上一番年少の中村 りましたがポートで

『東京十五日登』高松宮、同処南殿下には東る二十八二桑 「東京十五日登」高松宮、同処南殿下には東る二十八二桑 「東京十五日登」高松宮、県大原隆下がに秋 トンにて神源れる殿殿下が天皇、皇后、泉太原隆下がに秋 トンにて神源れる殿殿下が天皇、皇后、泉太原隆下がに秋 となる。徳川野校子和古人に宛られた外側での最後の御観書 を据で鬼餐さして十五日午前十時年権搬入港の漫開鬼にて を据で鬼餐さして十五日午前十時年権搬入港の漫開鬼にて を据で鬼餐さして十五日午前十時年権搬入港の漫開鬼にて を据で鬼子を立人に宛られた外側での最後の御観書

石川宮家別常の謹話

吉岡選手を招聘

内十五ヶ所で

グ戦速報

開心に連組板を続け速 の野瑞ファンがお目し が説を本社では左

銃射擊大會

東オリムヒック大會組織 リムヒック競技場にて建議者を五一数 明年解析に関く 手決定のため六月十九日解府の

ならざる 監がなり、第一師 野社 ならざる 監がなりに 事職 かまれ 電道に 城原な中心 さした を形式 市電道に 城原な中心 さした

六五六ン▲森東洋行〈電四六 ・五一七九〉▲永龍洋 ・五六ン▲森東洋行〈電四六

國際選手權豫選に

高松宮様は終始 日本語で御挨拶

御記憶力お强く

平民的な御性格

お寛吉の御散談に一同感激

奉迎晩餐會で御激勵

健康が大切 御出身校小田原中學同窓生

日

十五日午後二時五分中央試験場に では一先う階・態控制に何依無避 でされ、後から罵卑にて來た陸大 でされ、後から罵卑にて來た陸大 と一行の延欝さ共に豫堂において を一行の延欝さ共に豫堂において と一行の延欝された間に何依無避 がある。

り、大いで大連鞭脳倶樂部より合 ルに御座湾殿げされた 数離しく同五時四十分ヤマトネテ が十五分に亙つて空覧に供したが 鏡の新駅一頭を御覧になって御機が上五分に亙って空覧に供したが 鏡の新駅一頭を御覧になって御機 關東倉庫馬場に御成 在滿諸君は特に

葉山へ行幸啓 下には順宮標御同伴にて十五葉山十五日候】天皇、皇后雨

松宮同妃函殿下にほグラーカンサスシチー十四日 五分東京縣御發車午後二時二十日午後一時五分宮城御出門同十 高松宮兩殿下 十日間回地に御滞在二十五日 選子縣御着車にて薬山御用邸 十四日發」高

め本日午後アトロイトより當地キャニオン行列車へ御乗換のた 化學工業保養會もこれに劣られ 大線を呼びました、多忙のため でしたが、明治對アラメダ、酸 でしたが、明治對アラメダ、酸 でしたが、明治對アラメダ、酸 でも好いので必ず明大は今シー がも好いので必ず明大は今シー グも好いので必ず明大は今シー グも好いので必ず明大は今シー ガンに何かやるだらうさ思つて をりましたが果して早大を破つ て好いメタートかして居ります から春のペナントチームは明天 がやなからうがさ思ひます。然 がら春のペナントチームは明天 がの客かのペナントチームは明天 がの客かのペナントチームは明天 がの客かのペナントチームは明天 がの客かのペナントチームは明天 がの客かのペナントチームは明天

ので観察器では全朝二時消息八十のあり、不法に 動き結束に監験を懈えせた臓場緊 造ば今時の境内 が終れてに登録を懈えせた臓場緊 造ば今時の境内 のが観察では全朝二時消息八十のあり、不法に 不法監禁の

一のあり、不送 記機機務執行旅客艦 造は今頭の境内電域の影響が駆射 造は今頭の境内電域の影響が駆射

本月下旬駐満師團が

金州城攻防演

金六千脳也である、相響らで取出されたのが蘇東坡の青姉見せないものですがで前提し

本店 (大阪縣東北) 山岡發動機工作所 根 眼 科 醫院

井資

THE WASHINGTON OF THE PARTY OF 京東 桐箪笥

が相箪笥 カンノ家具店 地震電機能

界各 wou 酒 食 料品

き焼か作か ロールさよ リッシントンコーヒーフッシントンコーヒース フッシントンコーヒース フッシントンコーヒース

品し出突

店商川西





悪疫を